

# Viator

VOL.012

## 現代の証し人ヴィアトール

聖ヴィアトール修道会カナダ管区長  
ネストール・フィスーエメ師

本日はヴィアトール祭をお祝いし、聖ヴィアトールの持つカリスマの泉から水を受け取り、その源とひとつになりましょう。そのカリスマは私たちの歩みに霊を注ぎ、キリストに従う気持ちを強めるものです。ヴィアトールという聖人は、現代の証し人とは何かを探求するにあたり、私たちにヒントを与え、また問いを投げかける人物であります。



ヴィアトール会カナダ管区は 10 月 21 日に聖ヴィアトールを祝います。この日の典礼は聖ルカをたたえるもので、朗読箇所は神の御言葉の大切さや、ひとりひとりの信者に与えられた力強い宣教の使命を強調するものです。そこに認められる三つの主な考えはヴィアトール会の基盤となるもので、現代世界に生きるヴィアトール会会員の活動を導くものです。これは、ルカ福音書の示すように、派遣の箇所に現れるもので、呼びかけや派遣、ヴィアトール会のあり方に関わるものです。また、この呼びかけは、キリスト者であることによって人々にキリストを告げ知らせている日本においても、すべての人々に向けられているものです。

すべての人々に向けられた招き

「主は別に 72 人を任命した」(ルカ 10, 1)。主は、このようにして宣教のための弟子を増やしました。主にとって大切なことは、解放をもたらすための宣教です。「収穫は多いが、働き手は少ない」(マタイ 9, 37)。主は「収穫の主」に祈り、働き手を選ぶための基準を整え、収穫をつつがなく実現するのです。そして宣教は、十二弟子という限られたグループや、イエスの後に従った初期の弟子たちの枠を大きく超えていくのです。宣教はさらに拡がり、時間や空間、さらには宣教を行う個人の範囲をも超えるのです。

ここに、福音宣教のためカテキスタのグループを作ったケルブ神父の姿を予感することができるのではないでしょうか。ケルブ神父は、まず何よりもイエス・キリストとその福音を告げ知らせようとしていました。そして、そのために時代にふさわしい方法や条件を活用したのです。

現在では、私たちヴィアトール会会員による宣教活動は各地に拡がり、男女を問わず、さま

さまざまな会員が宣教を行い、修道会の垣根を越えています。カナダでは近日中に 9 名の準会員が誓約を行います。これは、宣教があらゆる人々をも包みこんでいることを表しているもので、私たちを宣教へと送り出しているイエスの教えと一致するものです。

宣教という点では、日本についても同じことがいえるでしょう。今年のクリスマスや来年の復活祭には多くの若者が洗礼を受けることとなります。ですから、みなさんの祈りや証しがなおのこと必要となります。ヴィアトール祭にあたり、教会が成長しますように。そのためにはみなさんの祈りや、信仰から生まれた喜びが必要なのです。

## 宣教の難しさ

キリストは私たちに宣教をゆだねられましたが、それは小さなことではありません。むしろ、私たちをつねに目覚めさせ、揺るがし、危険に陥れることもあります。宣教にあたり、私たちにはつねに努力が求められているのです。私たちは「おおかみの中に送りこまれた子羊」(ルカ 10, 3) のように、この世に送り込まれたのです。

世界のある地域では、とりわけ物質的にもっとも豊かな社会では、イエスを信じ、生活を通じてイエスを証しすることは、日常生活に対する挑戦ともなります。ある人々は、神の死や神への信仰の滅びまでをも宣言しています。そこでは目印となるものを見失ってしまった人々が多いのです。

ヴィアトール会会員であるとは、「勇気を持って、生きる喜びを語り、キリストの福音の証し人となること」を受け入れることです。私たちが皆ひとつになり、現代世界に対して共同体が立ち上がり、この世でもっとも助けを必要としている人々や、もっとも軽んじられている人々に関わるときこそ、このような挑戦を乗り越えることができるのです。

ヴィアトール祭にあたり、人間の暮らしが課題となり、人間の尊厳が危険にさらされている場に私たちが派遣されていることを思い起こそうではありませんか。これこそが、ヴィアトール会という家族の一致であり、ヴィアトール会のあり方の特徴なのです。

## アイデンティティの確立へ向けて

キリストは御自身で選ばれた弟子たちに、きちんと定められた宣教の課題を与えます。その課題とは、ヴィアトール会会員としての私たちの課題でもあります。それは、四つのテーマに展開し、私たちの生活を生き生きとさせるものです。

- 1) 私たちは、平和をもたらすものとなるよう招かれています。
- 2) 私たちは、現代世界の中での証し人となるよう招かれています。
- 3) 私たちは、人々をいやすものとなるよう招かれています。
- 4) 私たちは、神の国を告げ知らせるものとなるよう招かれています。

ヴィアトール会会員は平和をもたらす人となるのです。これは、共同体の中で、皆の統一や協調のために働くということです。そして心を開き、他者を受け入れ、他者を信頼して歩むのです。

「ヴィアトール会会員は世界の中で証し人となります」。これは、喜びや歓待、家族愛、素直さ、

心を開くといった、人々との交わりのしるしを私たちの態度や行いに刻みこむことを意味します。

「ヴィアトール会会員は人々をいやすものとなります」。これは、愛のことばをこの世にもたらし、生きがいを再び与えることです。また、傷つき、励ましのことばを待っている人々の立場に立つことでもあります。さらに人を裁き、罰を与える裁判官として振る舞うのではなく、耳を傾け、成長を助ける兄弟として振る舞うのです。

「ヴィアトール会会員は神の国を告げ知らせる人になります」。これは、神が廃れてしまうことも、その本質を失うこともなく、愛である父であり続け、私たちに必要なものを与え、私たちの誰一人にも絶望することがないことを意味するのです。

この手紙の末尾にあたり、みなさんと共に聖ヴィアトールに一致して祈りたいと思います。みなさんのため、すばらしいヴィアトール祭となりますように。また、みなさんが大切にしておられるこの教会のためにお祈り下さい。

このすばらしい教会で主をあがめ、主に祈るキリスト教徒の共同体の上に、主が豊かにたえず恵みをお与え下さいますように。主が私たちの喜びとなり、日々の暮らしの中に絶えずおりますように。アーメン。

\* ヴィアトール祭にあたりカナダ管区長から手紙が届きましたので、みなさまに披露します。  
黙想の糧にいただければ幸いです。 ボアベール神父

## 私は皆さんとともにいます

ウィリアム神父

皆さん、ヴィアトール祭おめでとうございます。司祭になって早くも半年が経ちました。私は司祭として働きながら、南山大学の学生、洛星中学の教師としても忙しい毎日を送っております。月曜日には教会でのミサが終わるとすぐにバスに飛び乗り、日帰りで名古屋へ行きます。南山大学での論文を仕上げるためです。また、ここ数か月は京都教区の天津教会、唐崎教会、安曇川教会を慌ただしく回り、ミサをあげております。不在にすることが多いので皆さん、私のことは忘れてしまったのではないですか（笑）。



私は北白川の皆さんと離れてたいへんさみしい思いをしております。司祭になる前となった後では別の人間のようにも感じております。皆さんといっしょにいたい、皆さんを大切にしたいという気持ちが強くなりました。何でも言ってほしい。できるだけ皆さんの力になりたいと思います。

いつも、つたない日本語で説教をしますが、皆さん分かってくださり有難く思っています。神様にほんとうに感謝いたします。大学の勉強も早く終わらせて、皆様のところに戻ります。これからも共に。

## メリー・ポピンズが救ったのは、だれ？

T.K.

京都映画祭、大阪アジア映画祭などを手伝ってきましたので、映画のことを書くようにお誘いいただきました。だいすきな映画の、どこがすきか、それを書きます。

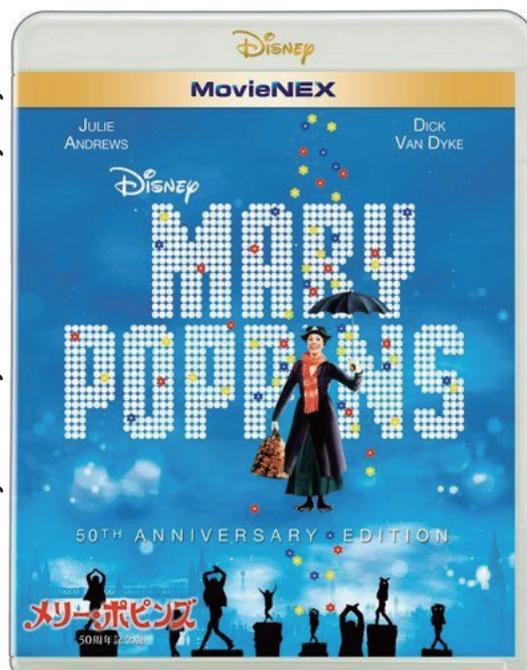
### 1. バンクスさんの暮らし

1910年の、春の終わりでしょうか、秋でしょうか。英国はロンドン、さくら通りでは花びらが折からの風に舞い、家々は街灯のかけで寒そうに沈んでいます。午後6時すぎ、銀行勤めのバンクスさんが17番地のわが家に帰ってきました。玄関の扉を開けながら歌います。「日々の仕事を終えれば、妻と子どもたちが出迎えて、ここはわが城。家族をまもる高貴な務めを果たし、わたしの深い満足は、エドワード国王にもおとらない」。ところが、ソファでくつろいだ途端、バンクス夫人がうろたえながら、「あなた、子どもたちが行方不明なの」。

ウォルト・ディズニーが50年ほど前につくったミュージカル『メリー・ポピンズ』の始まりです。オーストラリアに生まれたパメラ・リンドン・トラバース夫人の原作で、作詞・作曲はロバートとリチャードのシャーマン兄弟。パイナップルとかわいいプリンセスを一つにした「パイナップリンセス」の歌で有名ですね。二人の音楽が織りなす物語は、実写とアニメーションの合成です。まだコンピューターの使えない時代、手間ひま（時間）アタマを精いっぱい駆使して、なさそうでありそうな、夢の場面をつくりだしました。実写とアニメ、二人の監督がいます。

舗道の石に描かれた絵のなかへ「エイッ」とジャンプすれば、かすかにグリーンスリーヴズが聞こえてきて、小川に架かる橋の向こう、イングランドの緑の丘がひろがります。そのレストランで私たちはペンギンの給仕と踊り、回転木馬に乗って、狩りに追われるキツネを救いだし、競馬場に入りこんでは、プロのジョッキーを尻目に優勝してしまいます。でも、それは先のはなし。

バンクスさんがあわてて警察へ電話しているところへ、ジェーンとマイケル、十歳とおやっかな、<sup>きょうだい</sup> 風を抱えた姉弟を、お巡りさんが連れてきてくれました。警官はしかめ面のバンクスさんに「風が行方さだめず飛んで行き、それを掴まえようと追いかけただけ。二人は悪くありません」。ほんの小さな登場人物でも、ひとことで、どんなひとか分かってしまう。りっぱなシナリオですね。



## 2. 完璧なナニー、メリー・ポピンズ

「ナニーが無責任だ」とバンクスさんは新聞で、あたらしいナニーを募集することにしました。ナニーって、わたしだけではなく、米国人のロバート・シャーマンも知らなかったそうです。『ディズニー映画の名曲を作った兄弟：シャーマン・ブラザーズ』というビデオで、そうっています。ナニーは、英国独特の、家庭教師のような、子守のような、しつけ係なのでしょうか。「伝統、規律、規則にしたがい、きちんとしたしつけのできるナニーを1名募集」。そこへジェーンとマイケルがあらわれて、「ごめんなさい、いまのナニーがいやで、わざと逃げたの、わたしたちの希望するナニーは」と、じぶんたちの原稿を読みはじめました。「薔薇」色の頬、すべすべの肌、優しくて、遊びをたくさん知っていて、お菓子をつくってくれるひと。お願い、早く来て。「もう寝なさい」とバンクスさんは子どもたちを部屋へ追い返し、ジェーンの書いた紙を破って、暖炉に棄てました。けれど、外で風が吹いたのか、ちぎって棄てられた紙は暖炉から煙突へ舞い上がり、夜のなかに消えました。

翌朝、バンクス家の門さきには、ずらりと魔女のようなおばさんたち。応募者です。2階の窓から見て、ため息をつくジェーンとマイケル。でも急な東の風にあおられて、魔女たちは両手両足をひろげ、みんな飛び散らされます。そのとき、「見て！」とジェーンが遠くの空を指さしました。風を孕んだ蝙蝠傘を右手に高くかざし、色を変えた秋の葉のような柄の手提げ鞆を左手に、薔薇色の頬のメリー・ポピンズがゆっくり、こちらへ飛んでくるではありませんか。もちろん頬の色も、肌のなめらかさも、名前もまだ分かりませんが、これはやっぱり、そうでなくちゃ。希望どおりのナニー、メリー・ポピンズの登場です。

## 3. チム・チム・チェリー

メリー・ポピンズが子どもたちに何を教えたか。それは歌から分かります。「あと片づけは遊び、遊びなら楽しい」。「スプーン一杯の砂糖で苦いクスリも平っちゃら」。ほかにも、「2円だして鳩の餌を買ってあげて」。これはちょっと説明しなくては。「お父さまの銀行へ行く途中、聖パウロ教会があるでしょ。そこでは一人のおばあさんが道行く人々に呼びかけてる。このパン屑を買って。鳩にあげて。巣に待つ雛は小さくて、お腹がぺこぺこ。2円だして、小さな鳩の雛の、隣人になってあげて、って」。パパからは聞いてないよ。そうマイケルの目が見上げると、「お父さまもお気づきにならないことはあるの」と、稀らしくメリー・ポピンズがバンクスさんを庇いました。「だれも気に留めない雛に、パン屑をあげると、教会を囲んで立つ使徒の彫像たちが、頬笑んで揺れるわ、たった2円のことなのに」。

もう一つ「チム・チム・チェリー」の歌。「チムニー＝煙突」と「チェリー＝さくら」を混ぜ合わせて、やはり「パイナプリンセス」のような歌ですね。メリー・ポピンズの友だちは、ほら敷石に絵を描いて大道絵描きにもなれば、煙突掃除夫にもなる。その友だちと歌います。「煙突掃除は真っ黒になる仕事。でも煙突はうつくしいさくら。暗い孔ではたらいて、てっぺんまで登れば、星たちしか知らない世界を、ぼくたちは見る、世界でいちばん運がいい」。ミュージカルでだいじなのは音楽と踊り。たぶんこの「チム・チム・チェリー」は1曲で「メリー・ポピンズ」ぜんたいを示す、そのシンボルです。どこまでも楽しくて、それなのに、どこか悲しい。

わたしたちはときに、砂糖で苦いクスリをごまかしますが、必要とあれば、遙かてっぺんで見る星の世界を胸に秘めて、この暗い世界に踏みとどまらざるをえません。そうやって暗い煙突で過ごしていても、煙突はうつくしい花を咲かせるさくら、わたしたちはやはり世界一しあわせなのです。

子どもたちの2円を護って、バンクスさんは頭取に逆らい、じぶんのいる場所が煙突のなかだったと気づきます。まわりは真っ暗。そのとき耳の底に、メリー・ポピンズの歌う、陽気な歌がよみがえります。「どんなにつらくても、この長いおまじないを歌えば、げんき」とメリー・ポピンズはいいました。「supercalifragilisticexpialidocius」。わはは、まちがいなくシャーマン兄弟しかつくりえない歌ですね。

#### 4. 風を揚げよう

バンクスさんは風をかかえて自宅にもどり、「いっしょに風を揚げよう」と、ジェーンとマイケルを呼びます。そのとき風は西風。風の向きが変わればメリー・ポピンズは帰ってしまうのに、二人はお父さんお母さんと風揚げできる喜びに、すっかりメリー・ポピンズのことを忘れていきます。風はもちろん、明るいところにある煙突。まっすぐ揚がって、悲しみの多い地上と、晴れやかな空を、ひとすじの糸で繋がります。風を揚げるとき、わたしたちは涙の谷から、蒼い空を見あげます。「たかく高く風を揚げよう」。公園でみんなが歌っています。さいごの歌が響くなか、メリー・ポピンズはひっそり、ロンドンの空のかなたに飛んで行きます。しあわせなジェーンとマイケルを思い、でも、たぶん涙をこらえて。



メリー・ポピンズはジェーンとマイケルを救ったのでしょうか。この映画の製作エピソードをもとにした『ウォルト・ディズニーの約束』が去年、公開されました。たいせつなメリー・ポピンズを騒々しいミュージカルになんかしたくないという、原作者のトラバース夫人と、原作をそのまま生かして映画にしたいディズニーたちの闘争が、ユーモラスに描かれます。原題は『バンクスさんを救うには』。二つの映画を合わせ鏡のように見ると、原題の意味が生き生きと心に迫ってきます。

1906年、まだ6歳のトラバース夫人は、なじめない銀行の仕事がらくてお酒におぼれていく、だいすきなお父さんを救えませんでした。そのときの切ない思いが、『メリー・ポピンズ』のシナリオを検閲していると、胸をきりきり締めつけます。何もできなかった幼いじぶんを、トラバース夫人は赦せなかったのです。「それであなたはメリー・ポピンズを書いたのですね」と、ディズニーはいいます。いってはいないけど、そういう映画です。メリー・ポピンズを書いて、バンクスさんを救い、なにもできなかった償いを果たせば、それでじぶんを赦せるでしょうか。赦せませんね。だって、謝ったから赦すなんて、見返りがあるから赦すなんて、赦しは売り買

いの帳尻合わせでは、ありませんもの。あのときのわたしを、なんの見返りもなく赦したい。ただ無条件で赦してあげたい。それができなくて、苦しいの。トラバース夫人はディズニーに、そういつて訴えます。いつてはいないけど、そういう映画です。

なにかをしてくれたから、そのひとを赦すなんて、赦してではないと、トラバース夫人は思い、だからじぶんが赦せない。そんな厳しいあなたのために、わたしたちは『メリー・ポピンズ』をつくります。それは、あなたのメリー・ポピンズが、そういう赦しのひとだからですと、映画の終わりでディズニーはいいます。いつてはいないけど、そういう映画です。この二人は、実際に生きていたトラバース夫人でも、ディズニーでもありませんね。

『ウォルト・ディズニーの約束』に感心し、そうした見方を生む『メリー・ポピンズ』の柔らかい肌ざわりがいつそう好きになりました。その肌ざわりを伝えられたらと思つて、これを書きました。

## 堅信を受けて

K.Y. アシジのフランシスコ

堅信を受けるといわれても、はじめは何をするのか分かりませんでしたし、「堅信」の意味も分かりませんでした。僕は幼児洗礼を受けたので、堅信式の前に聖書や神様について学んだりして特別な準備をました。その準備のなかで、キリスト教について知らなかつたことを知ることができたり、自分の考えを持てるようになったり、自分自身を振り返ることができました。



そして堅信式の日。朝から緊張していました。司教様に額に聖香油の塗油をしていただいた時、何かが刻まれるような感じがして、生まれ変わった気がました。神様とより関係が深くなつたと思ひ、とても嬉しかつたです。

この堅信式で神様からたくさんのお恵みをいあいただきました。そのお返しにこれからも神様の愛を多くの人に伝えていきたくたいです。

## 編集後記

「編集」という作業に一切かかわらなかった身には、ただ「後記」としか言いようがありませんが、ご協力くださったかたがたには、心から感謝いたします。

さて、今号は企画にもご寄稿にも新たな趣向が加わり、おかげ様で、あちらこちらにあたらしい読者も加わって、「開かれた教会」への一つの試みが感じられるようで、拝見していて心ゆしいです。皆さまにはいかがでしょうか。

せっかくのこのような広報紙への機会を与えられて、今言うべきことありとの思いが深いので、それについてひとこと触れておきたいと思います。政教分離への理解をあえて誤用しカトリック教会の戦争責任から逃げようとする人たちもあるようですが、本来の政教分離の意味を踏まえた上で、ここでも「開かれた教会」への一端の理解として、私はこのところの日本の無残な政治状況に対しては、誰もが一言あってしかるべきと思っています。

そうした意味で、2年前の「特定秘密保護法」のときと同様、さる9月19日、国権の最高機関が議会ごっここの稚戯に墮しあゝの血なまぐさい法案を通したおりに、カトリック正義と平和協議会が凜として嚴重抗議し法律の廃止を求めたことに心からの敬意を表するとともに、教会の皆さまがたにも、愛と平和の宗教を生きる者として、しっかりとこれらのことに目を据えていただきたいと思っています。私たちの教会と歩みをともしするものが、子どもたちの未来に大きな責任を負う聖ヴィアートル修道会であってみればなおさらのことであろうと……。

K.K.

